

「さやま生活支援コーディネーターニュース」は、狭山市の各地で取り組まれている、生活支援体制整備事業である協議体の取り組みや、地域の福祉活動に関わる社会福祉協議会の取り組みを狭山市民の皆様にお伝えする広報誌です。

「生活支援体制整備事業」「協議体」についての詳細は裏面をご確認ください！



各地区の第2層の取り組みをご紹介します！



▲奥富地区支え合いネットワーク会議の皆さん

奥富地区 認知症でも暮らしやすいまちづくり

奥富地区支え合いネットワーク会議では、お互いに助け合える地域づくりを目指し、オレンジガーデニングプロジェクト（狭山市事業）「認知症になっても暮らしやすい町づくり」の活動を行いました。

地域の方の協力のもと、認知症のシンボルカラーのオレンジ色の花「マリーゴールド」の苗（総数6,000株）を、ご家庭のお庭、施設の花壇、小学生の通学路、お散歩コースなどに植えて、「認知症の正しい理解」や「認知症の予防について」を呼びかけました。また、今年は市政70周年を記念した花文字や、地域の方がお散歩をしながら楽しめるように、マリーゴールドマップを作成しました。

オレンジの花が奥富地区に広がり、それと共に「助け合う心の輪」も地域に広がりをみせています。



▲市制70周年の花文字

入間川 茶べり場サロンを3か所で定期開催！

入間川茶べり場では、上諏訪で1か所、鶯ノ木で2か所のサロンを毎月開催しています。季節にちなんだ工作や、消防隊員による火災予防のためのミニ講座、介護予防の体操やゲーム、演芸ボランティアによるミニコンサートなど、毎回来場者に楽しんでいただく工夫を凝らしています。顔見知り同士のおしゃべりにも花が咲きます。

社協の生活支援コーディネーターが常駐しており、お悩みごとや困りごとの相談をすることもできます。毎月楽しみにしているという方や、複数個所のサロンに通っている方も。茶べり場サロンを長期にわたり、定期的で開催していると、いつも通ってくださる方同士の交流が生まれます。ちょっとした変化にも気づくことができます。今後とも末永く続けていきたいです。

開催日につきましては、社協入間川地区担当までお問い合わせください！



▲ミニコンサートの様子



▲サロンでの様子

第2層協議体や各地区の取り組みは、狭山市社会福祉協議会各SNS(Facebook、Instagram)でも、随時更新しています！裏面二次元コードから是非ご確認ください！

第1層協議体 視察研修報告

令和6年11月、狭山市第1層協議体のメンバーと社協職員等計15名で、南アルプス市へ視察研修へ行ってきました。

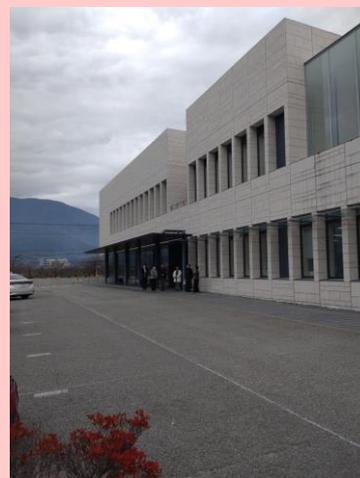
南アルプス市は、平成15年に2村4町が合併して生まれた市で、自治体単位での活動を行う、第3層協議体の活動が活発とのことで、お話を伺いました。

南アルプス市では、平成27年に生活支援体制整備事業に着手しました。地域住民が集まり、この地域でどう暮らしたいのか、そのためには何ができるのかを考え、2年半をかけて小学校区で分けた全16地区で第2層協議体が立ち上がりました。

そして、住民の方からの「もっと身近な地域で話したい」との意見から、自治会圏域の第3層協議体が生まれました。身近な人同士が参加することで、実際に困っている人が浮き彫りになり、そこから活動が広がっていきました。

また、実際に地域で第3層協議体として活動している方からもお話を伺うことができ、活動は困りごとを抱える人へのサービスづくりではなく、人づくり、地域づくりであるとお話がとても印象的でした。地域の困りごとを拾い集めることから、地域づくりが始まっていくのだと再認識できました。

今回の視察研修で伺った内容を参考に、狭山市でもより皆さんが暮らしやすいまちにできるよう努めてまいります。住民の皆さんのご協力を引き続きお願いいたします！



▲視察会場
南アルプス市地域防災交流センター



▲情報交換の様子



生活支援体制整備事業とは？

平成27年の介護保険法の改正によって、被保険者が要介護（支援）状態になることを予防し、社会参加しつつ、住み慣れた地域で自立した生活を続けるように支援する目的で定められました。そのために、医療や介護の専門的なサービスの他、NPOやボランティア等を活用した多様な日常生活上の支援体制の充実と強化が求められています。最後まで自分らしく暮らすことができるように病院や介護施設、その他の地域にある様々な機関と連携をする『地域包括ケアシステム』を目指しています。狭山市では、市からの委託を受けた狭山市社会福祉協議会が人と場、人と人、人と支援を繋ぎ合わせる、生活支援コーディネーターを配置して、住民の皆さんとともに、狭山市の「地域包括ケアシステム」を目指して整備を進めています。



協議体とは？

協議体とは、生活支援コーディネーターと連携し、地域課題の解決のために具体的な方法を検討したり、アイデアや情報を共有する話し合いの場です。狭山市全体の生活支援の形を考える第1層協議体とそれぞれの地域での仕組みを考えていく第2層協議体が活動しています。

お知らせ

市民大学同窓会主催講座「定年後のライフスタイルを考える」

定年を間近に控えた方に定年後の生活を考える中で、企業人から個人へスムーズに移行するためのセミナーです。ご興味のある方はぜひお申込みください。

【日 時】令和7年4月19日（土）14：00～16：00

【会 場】中央公民館 【定 員】15名

【申し込み】dousoukaikouhou@gmail.com 4月17日（木）まで メールにて受付

【編集発行・問合せ先】

社会福祉協法人 狭山市社会福祉協議会 地域福祉担当

〒350-1305 埼玉県狭山市入間川2-4-13 社会福祉会館内

電話：04-2954-0294 FAX：04-2954-4343

Email：chiiki@sayama-shakyou.or.jp



facebook



Instagram



YouTube



ホームページ



狭山市
社協ch